



～ 「交流及び共同学習」の活動紹介 ～

1学期は、小学部での「大笹生小学校との交流及び共同学習」の活動の様子について、お知らせしました。

2学期は、中学部の「平野中学校との交流及び共同学習」と「二本松工業高等学校との交流及び共同学習」の活動の様子について、お知らせします。

中学部<平野中学校との交流及び共同学習>

12月1日(水)、平野中学校2学年の生徒と「交流及び共同学習」を行いました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、マスクを着用し、消毒や換気に留意しての実施となりました。

平野中学校生徒と本校中学部生徒の交流活動に先立って、11月17日(水)に、本校教員が平野中学校に向いて出張授業を行いました。出張授業では、支援学校の紹介や障がいの理解と啓発、障がいのある人も一緒に楽しめるスポーツ(ニュースポーツ)の案内などを行いました。

「交流及び共同学習」は、同世代の友達と交流できる貴重な機会となります。コロナ禍の昨今、人と人とが直接つどって交流を図る機会が少なくなっていますが、障がいの有無にかかわらず、同じ場で共に学ぶ「インクルーシブ教育」の構築に向けた実践的な活動を実施できたことは、有意義なことだったと感じています。平野中学校の2年生や本校生徒たちからは、「楽しかった」、「一緒に活動できてよかった」などの感想を聞くことができました。

<グループ活動 ~自己紹介~>

☆ 3グループに分かれて、自己紹介し合いました。

<フライングディスク班 ~体育館~>

☆ アキュラシーゴール(輪の枠)を目標けて、ディスクをなげることができました。...「あの中をねらうんだね。」そんな会話が聞こえてきそうでした。



<ボウリング班 ~音楽室・自立活動室~>

☆ 手作りのペットボトルピンをねらって。「よし! たおれたっ。」(ガッツポーズ)



☆ 高得点をねらって、赤や青、白のボールをなげました。
「がんばれー!」、得点的にみんなが見入っていました。
〈ボッチャ班 ~視聴覚室~〉



<二本松工業高等学校との交流及び共同学習>



平成27年から継続している「交流及び共同学習」は、二本松工業高等学校の生徒が本校児童生徒の興味やニーズをもとに教材を制作し、実際に活用しながら進めていく年間4回の「交流及び共同学習」です。今年度は生徒3名が本校の児童生徒とそれぞれ学習を進めました。

1回目（6月30日）と
2回目（7月14日）

授業や休み時間等、一緒に活動しながら、本校児童生徒がどのようなことに興味関心を示すのか、どのようなニーズがあるのかを理解していきました。

3回目（10月27日）

試作品を使用し、本校児童生徒が興味を持つか、操作はしやすいか、安全性はどうかを実際に活動しながら確認しました。改善点について担任と情報交換をしました。

4回目<報告会>（12月8日）

前回の改善点をもとに制作した完成品を使って活動しました。何度もスイッチに手を伸ばしたり、聞こえてくる音に耳を傾けたりと教材に興味を示す児童生徒の姿が見られました。

～ 活動を終えて ～

「交流及び共同学習」後に行われた報告会では、高校生からは「相手に少しでも喜んでもらえることが自分の活力になることを実感した。」という言葉が聞かれました。活動を終えての二本松工業高校の生徒の感想を紹介します。



試作品を試してもらおうことができず、不安でしたが、完成品を見せるとたくさん手を動かしボタンを押して楽しんでもらったので安心しました。

1回目の交流から心温まる歓迎をしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。交流を通して、相手のニーズを尊重することの大切さを学びました。



主に作業学習を通して交流しました。授業で使う言葉や好きな音楽を繰り返し録音できるようにしました。実際に使ってもらえてうれしかったです。

